

## 授業科目等の概要

(工業専門課程 建築職人マイスター専攻科) 令和7年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			建築法規Ⅰ	建築基準法・建築基準法施行令・都市計画法を学ぶ。特に、建築基準法については、建築物法規の概念、総括規定、集団規定、単体規定、制限規定など詳細に学ぶ。建築基準法の基本定義から用途地域・防火・準防火地域についての法令集の読み取り理解を行う	1前	2	○				○				○
○			建築法規Ⅱ	建築基準法・建築基準法施行令・都市計画法を学ぶ。特に、建築基準法については、建築物法規の概念、総括規定、集団規定、単体規定、制限規定など詳細に学ぶ。火災に対する基準から関係法令までを学ぶ	1後	2	○				○				○
○			建築計画Ⅰ	『構造力学』は、荷重や外力がどのように構造物の中を伝わり、構造物にどのような影響を生じさせるのかを明らかにするものであり、種々の構造を構成するための基本となるものである。この授業では力のモーメント、応力が求められ、静定ラーメンのモーメント図、せん断力図が描ける能力を習得する。	1前	2	○				○				○
○			建築計画Ⅱ	建築物の各部を計画する際の理論を講義する。住宅・集合住宅・商業施設・事務所建築・公共施設など代表的な用途別建築物の計画プロセスと手法を理論的に講義する。	1後	2	○				○				○
○			構造力学Ⅰ	『構造力学』は、荷重や外力がどのように構造物の中を伝わり、構造物にどのような影響を生じさせるのかを明らかにするものであり、種々の構造を構成するための基本となるものである。この授業では力のモーメント、応力が求められ、静定ラーメンのモーメント図、せん断力図が描ける能力を習得する。	1前	2	○				○				○
○			構造力学Ⅱ	『構造力学』は、荷重や外力がどのように構造物の中を伝わり、構造物にどのような影響を生じさせるのかを明らかにするものであり、種々の構造を構成するための基本となるものである。 3ヒンジラーメン、トラス、断面一次・二	1後	2	○				○				○
○			一般構造Ⅰ	建築設計の基礎的知識である構法の構造原理や構造形式、構造材料などについて学ぶ。この授業では木構造・鉄筋コンクリート造の構造についての知識を理解習得する	1前	2	○				○				○
○			一般構造Ⅱ	建築設計の基礎的知識である構法の構造原理や構造形式、構造材料などについて学び、Ⅱでは鉄骨構造・鉄骨鉄筋コンクリート構造・補強コンクリートブロック構造・プレストレストコンクリート構造などの各種構法の特性と適用について総合的に理解する。	1後	2	○				○				○
○			建築材料Ⅰ	建築材料の分類や性能の概要と、コンクリート・木材・鉄鋼などの材料特性とその用途について学び、建築の目的や構造に適合する材料について体系的に習得する。	1前	2	○				○				○





○		技能実習Ⅲ (大工)	規矩術の習得 軸組図面の理解(番付け) 仕上げ工事の理解	2 前	12				○	○					○
○		技能実習Ⅳ (大工)	規矩術の習得 軸組図面の理解(番付け) 屋根の納まりの理解 2級建築大工技能士の資格習得	2 後	14				○	○					○
○		技能実習Ⅲ (左官)	道具の手入れ、使用用途、使用方法を覚える 2級左官技能士の技能習得 2級ブロック建築技能士の技能習得	2 前	12				○	○					○
○		技能実習Ⅳ (左官)	道具の手入れ、使用用途、使用方法を覚える 日本建築の修復と復元施工に携わりだ伝統的 な左官技術を身に着ける	2 後	14				○	○					○
○		夏期インター ンシップⅡ	協力企業の施工現場で施工担当者から直接的 指導を受け、実技研修により技術のリテラ シー(現場・現実・現物)を知る。作業終了 後、研修日誌、報告書を作成する。	2 通	2				○		○				○
合計				38科目			158単位								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
●表示の科目中1科目以上を2年間で取得のこと。		1学年の学期区分	2期
		授業期間	30週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。